

同窓会だより

法曹界で活躍する 真和OB

裁判官の仕事

裁判官 金森 陽介 (37期生)



みなさんこんにちは。横浜地方裁判所小田原支部で裁判官をしています金森と申します。とはいっても、実はこの四月から日本銀行に転出していますので、今現在は裁判官の仕事はしていません。このあたりは後で改めて触れることにしまして、まずは簡単な経歴紹介をさせていただきます。

私は上益城郡甲佐町の出身で、地元の公立中学校を卒業した後、平成十一年に真和高校に入学しました。そして、平成十四年に京都大学法学部に入學し、大学に五年間通つ

て何とか司法試験に合格することができました。その後、一年四か月の司法修習(裁判官、検察官又は弁護士になる)と受ける研修のようなものと思ってください。なお、現在の司法修習は一年間に短縮されています。を経て、無事裁判官になることができました。平成二十年九月から働いています。最初は大阪地方裁判所に配属されましたが、今年四月に異動になり、横浜地方裁判所小田原支部に籍を置いて日本銀行に転出となりました。

みなさんがこの真和通信を読まれている今、私はおそらく東京にいます。私がおそらく東京にいると思いませんか。ところでみなさんは裁判官が実際にどのような仕事を

しているかご存知でしょうか。「裁判官」というくらいです。事ですが、一口に「裁判」といっても実はいくつ種類があり、大きく「民事裁判」と「刑事裁判」に分けられます。

先に「刑事裁判」の方から説明しますと、これはある人が罪を犯したかどうか、犯したとすればどの程度の罰を科すかを判断する手続です。最近では裁判員裁判がよくニュースになっていますね。また、これに関連して、逮捕状や捜索差押許可状(刑事ドラマで「ガサ状」と呼ばれているもの)といった令状を発付するのにも裁判官の仕事です。令状の発付は、いつ請求が来てもいいように年中無休の二十四時間営業です。

そのため、夜間や土日祝日に替で担当します。私はまだ刑事裁判を担当したことはないのですが、令状については何度か経験しました。大きな事件になると、ダンボール一箱くらいの捜査資料を参照しつつ一時間程度で結論を出さなければならぬこともあり、かなりプレッシャーを感じますが、やりがいのある仕事です。

次に、「民事裁判」とは、私人と私人との間の法的な争いを解決するための手続です。交通事故の被害者が加害者に損害賠償を請求したり、物の貸主が借主に對して返還請求をしたりするので、双方の言い分を聞きながら、どちらが正しいかを判断するわけです。

刑事裁判にせよ民事裁判にせよ、最終的には「判決」という形で結論が示されますが、この判決を下す過程では事実認定が重要であるといわれます。裁判官は神様ではありませんから、過去にどのような事実が起ったのかを直接接認識することはできません。そこで、証拠に基づきながら、過去にどのような事実が起ったのかを考え、認定していきます。証拠には「証言」も含まれますので、刑事ドラマによく見る証人尋問は、事実認定の過程という位置づけになります。

この事実認定は口でいうほど簡単ではありません。例えば、包丁を使った殺人事件が発生し、凶器の包丁にAという人の指紋がついていたと

します。Aさんは犯人でしょうか。指紋があるなら犯人だと思ってもいいかもしれませんが、Aさんが被害者の元交際相手で、被害者の部屋でよく料理をしていたという事実が追加されたらどうでしょう。指紋にあまり意味はないと感じませんか。しかし、更に、Aさんが被害者と別れたのは一年以上前でそれから部屋に出入りしていないという事実が追加されたらどうでしょう。指紋が発見されたことには重要な意味がありそうですね。

これはごく単純な例ですが、実際にはもっと複雑な事実認定が必要な場合があります。私はまだ経験が浅い若手の裁判官なので、一人で判決をする権限がなく、裁判長と先輩裁判官を合わせた三人の裁判官で裁判を担当します。

が、判決を書くに当たっては残り二人の裁判官としっかり議論します。その中で、事実認定についても、三人の裁判官がああでもないこうでもない

議論を重ね、最終的な結論にたどり着くわけです。さて、ここで私が日本銀行に転出している理由について少し触れておきましょう。先に述べたとおり、判決に当たっては事実認定が重要ですが、適切な事実認定をするためには、社会のことをよく知っておく必要があります。

例えば、金融機関がある人に対して貸金の返還を猶予したかどうかが争われている場合、「金融機関が返還を猶予するのは、通常どのような場合か」ということを知っておかなければ、返還猶予の有無を判断することは難しいでしょう。そこで、若手の裁判官(全員ではありませんが)が社会について見識を深めることができるよう、一定期間は外部での勤務経験をさせるということがあるわけです。

(専ら事実認定能力の向上のみを目的としているわけではなく、主要な目的の一つであることは間違いありません。)

以上、簡単ではありますが、裁判という仕事についてお話しさせていただきました。みなさんが少しでも裁判官の仕事に興味を持ってもらえたなら幸いです。ちなみに、みなさんの中には進路に迷っている人も少なくないと思いますが、私も実は高校時代から裁判官になりたいという目標を持っていました。裁判官になりたくて、大学四年生に考えたのは、大学四年生になつてからでした。大学時代はたくさんの方を学ぶことができ、たくさんの方から教

え切れないほどの刺激を受けますから、その中で自分のやりたいことを見つけるのがいいのではないかと思います。なお、受験のためには相当勉強しなければならぬことはもちろんですが、有意義な大学生を送るためにはそれだけでは十分というのが私の個人的な意見です。一生懸命勉強して一生懸命遊ぶ。これが学生の自分でしょう。

最後になりましたが、みなさんのこれからの活躍を心からお祈りしています。

略歴
金森陽介(かなもりようすけ)

1984年 上益城郡甲佐町生まれ
1996年4月 甲佐中学入学
1999年4月 真和高校入学
2002年4月 京都大学法学部入学
2006年 旧司法試験に合格
翌年、司法修習生となる
2008年 大阪地方裁判所判事補任官
2011年4月 横浜地方裁判所小田原支部判事補任官
2011年同月 日本銀行へ転出

真和中学・高等学校
http://www.shinwa.ed.jp

真和同窓会(杏葉会)
http://www.shinwa-dosokai.com

同窓会お知らせ
平成23年度真和中・高等学校
大同窓会(杏葉会)
講演会: 総会・懇親会開催。
日時: 平成23年6月18日(土)6時30分
場所: 熊本ホテルキャッスルにて

「生きる力の育成」

真和中学・高等学校校育友会長

馬場 成志



真和中学・高等学校は、創立五十周年の歴史と伝統が息つき、脈々と受け継がれてきた。「誠・信・望」の校訓のもと、県内屈指の進学校として各界に多くの素晴らしい人材を輩出しています。

これは、生徒一人ひとりの努力はもちろんですが、本校の充実したカリキュラムと先生方の御指導・御支援があつてこそのもです。皆さんは本校の様々な教育活動と先生方の教えを信じて、安心して勉学やスポーツに励んで欲しいと思います。

また、皆さんは、いずれ変化の激しい社会の荒波へと飛び込むこととなります。皆さんが社会人になったとき、様々な分野で活躍するためには、他人を思いやる豊かな人

間性やたくましく健康な体が不可欠であるのももちろん、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断して行動し、よりよく問題を解決する能力が必要です。

これからの学校生活が、自分自身の将来を決めるための基礎となります。学校生活の中で、様々なチャレンジを通して経験を積み、こうした能力をバランスよく身につけた「生きる力」をもつ素晴らしい人材となることを願ってや

祈ります。

みません。育友会は、そんな皆さんを、学校と一緒に育て、しっかりと応援していきたいと思つています。

上田校長先生をはじめ諸先生方には、未来ある子どもたちの夢の実現のために、今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。また、育友会員となられた保護者の皆様には、本会活動への積極的な御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

これからの皆さんの活躍と、真和中学・高等学校の今後ますますの発展をお祈りします。

クラブ・同好会紹介

「文化部」

- 宗教部(飛水)
- 文芸部(北本)
- 写真部(宮本修)
- コーラス部
- (中)春日(林原)
- (高)赤山(音提)
- オークストラ部(長坂)
- 演劇部(歌田)
- 生物部(歌田・野口)
- 化学部(野田・元田)
- 吹奏楽部(日野)

「同好会」

- イラスト同好会(森下)
- 囲碁将棋同好会(篠原)
- E.S.S同好会(北野・足立)
- オペラ同好会(中島)
- パソコン同好会(長坂)
- 古典芸能同好会(赤山)
- 物理同好会(吉・徳尾)
- 書道同好会(栗)

「体育部」

- 軟式野球部(國武・宮崎 関山)
- 剣道部(松本)
- サッカー部(柴・松永・松下)
- ハンドボール部(中島)
- (大村・吉里・坂本)
- 女子新体操部(馬場)
- 弓道部(野田・松永)
- バスケ部(長尾)
- バスケ部(中島)
- (江藤・美田)
- テニス部(中島)
- (山口・熊谷・田村・西村・岩田)
- バドミントン部(緒方・馬場)
- 陸上部(高本・松浦)
- 卓球部(中島・那須)
- 硬式野球部(桑田・徳尾)



- オークストラ部
高文連 管弦楽・器楽部門金賞 全国高校総合文化祭出場
- 生物部
九州高校理科研究発表大会 優秀賞
- 化学部
熊本県生徒理科研究発表大会 優秀賞
- 囲碁将棋同好会
熊本県高校総合文化祭 将棋部門 男子団体準優勝
- 卓球部(高校男子)
熊本県新人戦団体ベスト16(平成22年度)
- テニス部(高校男子・高校女子・中学校)
中学生新人テニス九州大会出場、熊本県高校総体団体ベスト8(平成21年度)
- サッカー部(高校)
熊本県高校総体ベスト16(平成22年度)
- 弓道部(高校)
熊本市地区高等学校 男子団体3位(平成22年度)



- 平成二十三年 生徒役員名
- ◎ 生徒会長
梅元 悠介(II-3)
- ◎ 副会長
八幡 美咲(II-6)
- ◎ 代議員
豊田かなえ(II-6)
坂梨 志成(II-1)
小四郎丸 蒼(II-2)
東川 和代(II-6)
佐藤 素安(II-6)
小林 綾乃(II-3)
横山 嵩史(II-3)

